

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-1	分類	共通	担当課	経営企画課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	IC乗車券システムの安定的な運用					
目的	多くのお客さまが利用するICカードの信頼性を担保するために、ICシステムの安定稼働を維持する。										
内容	・システムの安定稼働を維持しながら、保守費用のコストダウンを検討する。 ・耐用年数の経過、ニーズや他事業者サービスの動向等を踏まえて、計画的な機器更新を検討する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定											
実績											

【年度計画】

目標と実施方法	・定期券発行機(※1)更新業務委託の発注 ・通常保守業務委託内容の点検と次年度委託内容の検討	数値目標	
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・定期券発行機更新業務委託を予定どおり11月に契約した。 ・保守業務委託では、集合・対面にて開催しているワーキングを书面での開催とするように仕様を見直し、次年度の保守業務委託におけるコストダウンを図った。	数値目標の達成状況	
課題と改善策					

【備考】

※1 「定期券発行機」とは、定期券発売所において、ICカード乗車券icscaの新規発行、定期券の発行、再発行、払い戻し等を行う機械です。
--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-2	分類	バス	担当課	業務課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	バス車載機の更新					
目的	多くのお客さまが利用するバス車載機の信頼性を担保するために、バス車載機の安定稼働を維持する。										
内容	耐用年数を迎える運賃箱や運賃表示器などのバス車載機を令和6年度までに更新する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	情報収集 仕様検討 バス車載機の更新										
実績	情報収集の実施										

【年度計画】

目標と実施方法	R3年度はバス車載機更新に直接関係する作業はないが、業者と打合せを行い車載機の最新トレンド等に関する情報収集を行う。						数値目標	車載機業者と年2回打合せを行い情報収集を行う。
---------	--	--	--	--	--	--	------	-------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	最新の機器情報を複数の業者から入手するなど、次年度の仕様検討等に向けた準備を行った。	数値目標の達成状況	車載機業者と年2回打合せを行い情報収集を行った。
課題と改善策					

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-3	分類	バス	担当課	財務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	市バス営業所建物の更新			
目的	市バス営業所建物について、施設の長寿命化を図ることで、維持管理費を節減する。								
内容	令和元年度に策定した「仙台市交通局自動車運送事業施設改修・更新計画」に基づき、営業所、出張所及び整備工場などの建築物・附属設備の改修や更新を計画的に行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	設計業務	川内工事							
		設計業務	白沢工事	東仙台工事					
	各営業所、出張所、整備工場 改修工事								
実績	設計業務	設計業務の完了予定はR4.10末に繰越							
		各営業所等の改修工事は予定通りに完了							

【年度計画】

目標と実施方法	川内営業所施設更新実施設計業務、各営業所及び整備工場等の改修工事を適宜発注・監理を行い、自動車部等関係各課と調整を行いながら業務進捗管理を行う。	数値目標	川内営業所施設更新実施設計及び長町営業所整備工場外壁等改修工事外4件を実施する。
---------	--	------	--

【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	- 川内営業所施設更新実施設計業務については、整備工場の板金・塗装ブース業務の実況整備工場への移転計画変更により設計業務期間を令和4年10月末に変更した。 - 改修工事は全て実施達成済(5件)	数値目標の達成状況	・改修工事实施達成(5件)
課題と改善策	・川内営業所施設更新実施設計業務については、令和4年9月の工事持込に向けて業務管理を引き続き実施する。				

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-4	分類	地下鉄	担当課	車両課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	南北線車両更新					
目的	南北線は昭和62年の開業から30年以上が経過し、計画期間内に耐用年数を迎えることから、車両の更新を行い、安全かつ快適な輸送サービスを提供する。										
内容	令和6年度より3000系車両の導入を開始し、安定的な運行を確保するための予備車両を考慮のうえ、令和12年度までに最大22編成を導入する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	仕様検討・車両製造・試験 車両導入										
実績	仕様検討										

【年度計画】

目標と実施方法	令和2年度に行った投票結果をもとに車両新デザインを決定する(※1)。また、各製造請負業者との協議を実施し、車両仕様を決定する。	数値目標	全7契約(車体・台車・主回路・ブレーキ・自動列車制御・低圧電源・空調)の製造請負業者を集めた全体会議を年2回開催する
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	新型コロナウイルスの影響で工程の遅れが懸念されたが、全体会議や個別の打合せを計画的に実施し、遅れることなく進捗した。	数値目標の達成状況	・全体会議を年2回開催し、メーカー間の課題事項の整理、仕様決定までに必要となる情報(図面等)の授受期限の確認を行った。
課題と改善策					

【備考】

※1 デザイン投票の結果は、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト[仙台市地下鉄南北線新型車両デザイン投票結果]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-5	分類	地下鉄	担当課	電気課、施設課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	地下鉄各種施設設備の更新					
目的	経年劣化により故障頻度が高まるおそれのある設備やシステムについて、計画的に更新を行うことで信頼性を確保する。										
内容	・地下鉄施設のうち、駅舎や車両基地の建築設備について、施設保守担当部署である富沢管理事務所と荒井管理事務所による点検結果のヒアリングや、機器の耐用年数などにより、計画的に更新を行う。 ・電気設備については、各設備を計画的に更新し、設備の機能を良好に維持する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	設備やシステムの計画的な更新										
実績	設備やシステムの計画的な更新										

【年度計画】

目標と実施方法	長期的な更新計画に基づき、当年度実施予定の更新工事を実施するとともに、定期点検の結果を次年度以降の計画に反映させる。					数値目標	当年度実施予定の更新工事21件を実施する。
---------	--	--	--	--	--	------	-----------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	【空調調和設備・換気設備・防災設備・給排水衛生設備・昇降機設備等設備更新工事】 単年度工事は全て完了し、債務負担行為も着手済みであり、予定通り進捗している。 【配電室設備更新工事・信号保安設備更新工事・画像伝送設備更新工事】 計画通り当年度実施予定の更新工事を発注・完了した。また、定期的な点検を行い、設備の不具合に対しても適切に対応している。定期点検の結果をもとに、次年度以降の計画の見直しを行った。	数値目標の達成状況	当年度実施予定の更新工事21件を実施した。
課題と改善策					

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-3-6	分類	地下鉄	担当課	施設課、富沢管理事務所、荒井管理事務所	戦略	安全・安心の推進			年度	R3
取組	施設設備の計画的な維持更新				個別取組	構造物の長寿命化					
目的	地下鉄における施設等について予防保全工事や改修・更新を行うことで、費用の平準化を図りながら施設等の機能維持・向上を図る。										
内容	・維持管理計画を作成する。 ・トンネル、高架橋及び建築物の定期的な検査・点検により状態を把握し、優先度を決めた上で維持修繕及び予防保全工事を行う。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	・維持管理計画の作成			定期検査・定期点検の確実な実施。予防保全の考え方に基づく計画的な維持補修の実施							
実績	・維持管理計画の作成										
	 定期検査・定期点検の確実な実施。予防保全の考え方に基づく計画的な維持補修の実施										

【年度計画】

目標と実施方法	南北線の高架橋、トンネルについて、当年度実施予定の予防保全工事2件を実施する。				数値目標	当年度実施予定の予防保全工事2件を実施する。
---------	---	--	--	--	------	------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	定期的な検査・点検を実施し、施設等の状態を把握したうえで、優先順位を決定し、維持修繕及び予防保全工事を実施した。	数値目標の達成状況	当年度実施予定の予防保全工事2件を計画どおり実施した。
課題と改善策					

【備考】